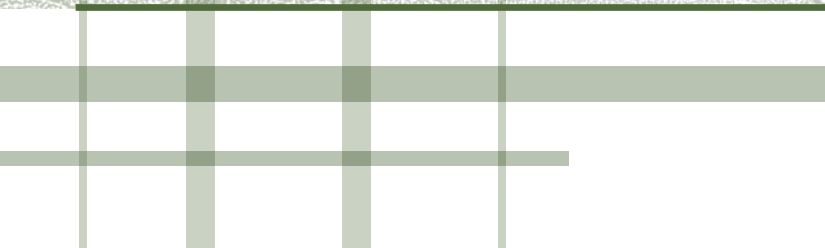


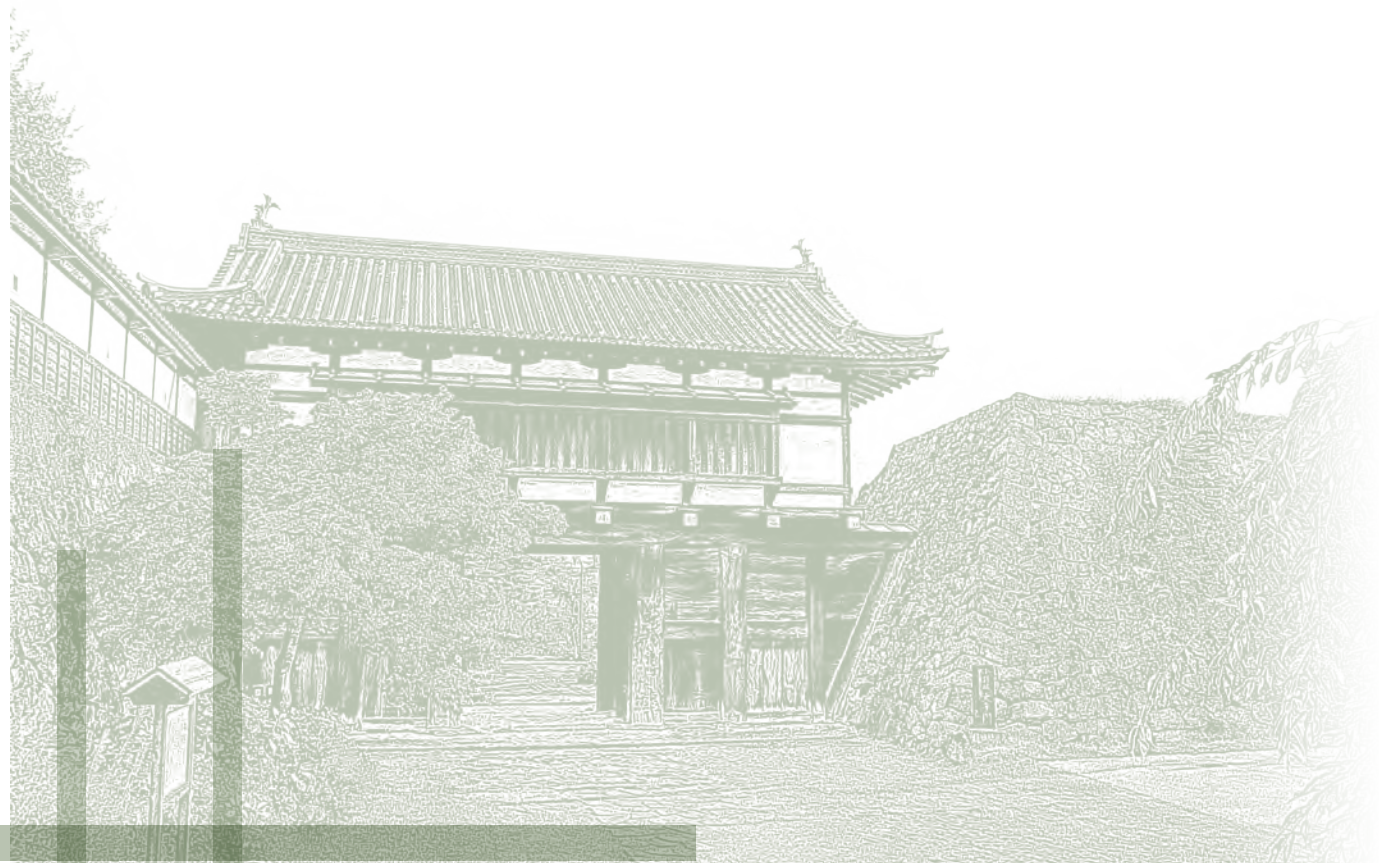
旧小諸本陣・大手門・三之門地区
文化・観光交流拠点化に係る基本計画

〈個別計画編〉
旧小諸本陣敷地一帯での拠点施設化計画



令和5年12月
小諸市・小諸市教育委員会





目次

1. 拠点化施設の基本的な考え方と方針
2. 旧医院の現状
3. 拠点施設のデザインコンセプト
4. 敷地一帯のゾーニング
5. 敷地一帯における動線イメージ
6. 旧医院の活用イメージ

1. 拠点施設化の基本的な考え方と方針

(1) 対象地の概要

旧小諸本陣・大手門・三之門地区の拠点施設化を行う対象地は、国重要文化財である旧小諸本陣がある地区である。

旧医院は旧小諸本陣と同敷地内に佇む建物である。かつては小児科・内科専門の医院として利用されてきた。

①アクセス

公共交通機関を利用する場合は、しなの鉄道及びJR東日本（小海線）の小諸駅で降車し、徒歩で約5分。車を利用する場合は、上信越自動車道の小諸ICより車で約8分。

②-1 拠点施設化エリア敷地概要

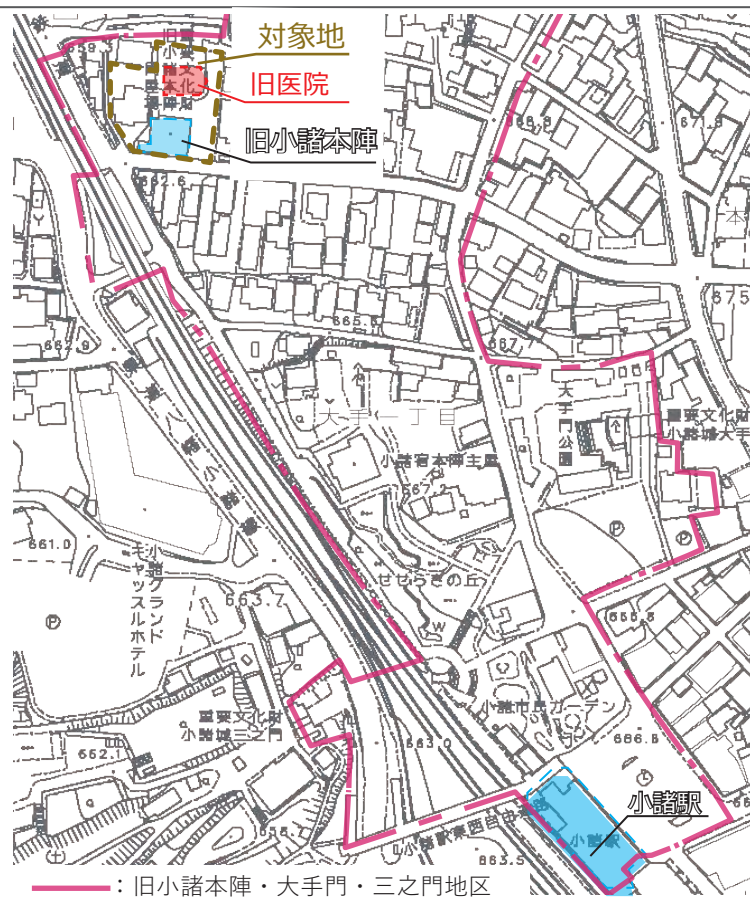
・敷地面積：約 2,605 ㎡

②-2 対象敷地概要

・建築面積：905.04 ㎡

・建築面積：213.79 ㎡

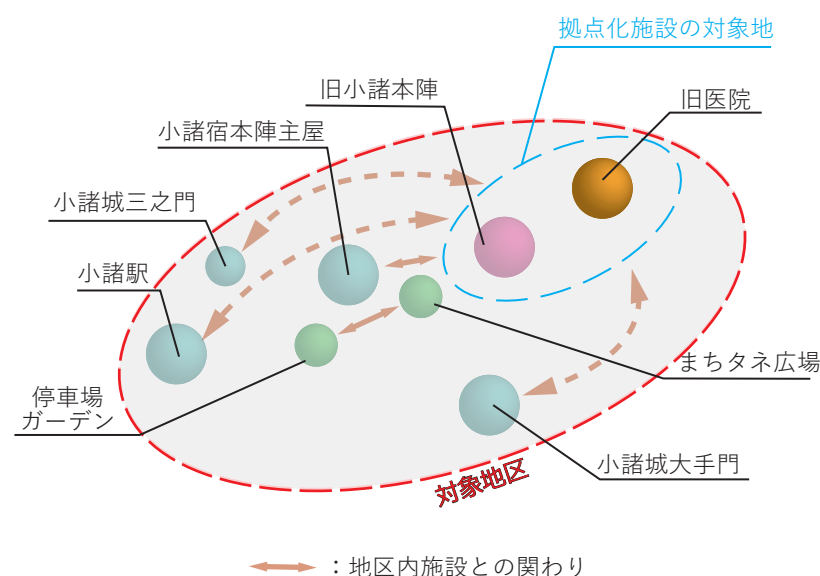
・延床面積：207.58 ㎡



(3) 拠点施設化における基本的な考え方

対象地には旧小諸本陣に隣接する「広場」と元小児科・内科として使われていた「旧医院」がある。

旧小諸本陣・大手門・三之門地区内の重要文化財をはじめとする歴史的文化遺産を効果的に活用していく施設であり、本地区に関わる人々交流の場となる施設として計画を行う。



(2) 旧小諸本陣の利活用に向けた課題

1) 旧小諸本陣の活用に向けた基本機能の不足

現在、旧小諸本陣には駐車場の設置がなく、建物を管理機能もないのが現状である。また、滞留空間がないため、観光客の足が遠のき、歴史的遺構の魅力が発信されていないのが現状である。

2) 重要文化財指定による利活用の制限

文化財保護法は、その目的を「文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」と規定しており、保存と活用の両立は文化財保護の重要な柱と考えられている。

近年ではブライダル会場やホテルの転用など積極的な利活用が図られる事例が増えてきた。

一方、文化財の保存に配慮を欠いた活用方法は厳に慎むべきで、文化財自体の本質的価値を理解せず無闇に手を加えれば、本来利活用しようと考えていた重要な部分が消失し、計画が破綻する事になり得る。

そのため、活用にあたっては文化財としての価値を損なうことのないよう特別に配慮する必要がある。

(参考：平成8年12月25日発出、庁保建第161号「文化庁文化財保護部長通知」)

3) 本エリアの核の必要性

旧小諸本陣は旧北国街道沿いに今も残る数少ない本陣の遺構である。江戸時代に建てられたこの建物は明治以降、病院として使われていた時期もあり、利活用の歴史は非常に深いものである。

しかし、その歴史的魅力はあまり知られておらず、建造物としての価値も下がりつつある。旧小諸本陣をはじめ、旧北国街道沿に残る歴史的建造物の見学に足を運ぶ観光客は一定数存在するものの、小諸城址懐古園のように小諸の顔として広く知られ多くの人が足を運ぶ状況ではない。

そこで本地区の核として旧小諸本陣周辺を拠点施設化することで、地区全体の活性化につながるのではないかと考える。今回の提案ではその核のあり方を検討していく。

(4) 対象地の活用方針

1. 「旧小諸本陣利活用のための補完機能として、旧医院と合わせ一体的な拠点施設化を推進する」

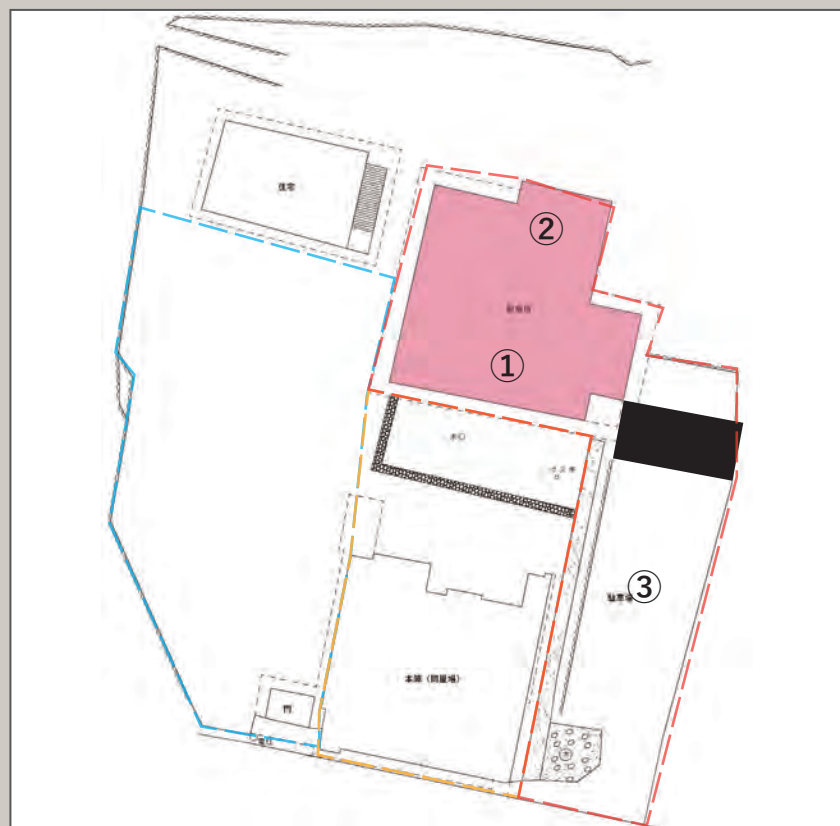
旧小諸本陣の利活用において、設置が不可能な機能を旧医院で補う検討。

2. 「新たなヒト・モノをつなぐ文化発信拠点」

新たな小諸の文化創生拠点として核施設としての機能を果たしていく。



2. 旧医院の現状



概要

旧医院は内科・小児科の医院として使用されていた。しかし、数年前に休院後そのまま閉院してしまい、現在は未舗装の駐車場と空家が残っている。

①旧医院

建物は RC 造の建物で比較的新しい建物となっている。三角形の硝子窓が特徴的で、自然光は十分入るつくりとなっている。内部は当時の医院としての状態が残っており、家具やキッチンといった設備や什器は残されている。建物には半地下が存在し、当時の看護師の休憩室や湯沸室のような空間が設けられている。

②蔵

裏には木造の蔵があり、当時の雰囲気が感じられるつくりとなっている。蔵内部の清掃は必要なものの建物の状態は良好である。

③周辺環境（駐車場一庭空間）

敷地の周辺は歴史的な建物と街並みが残る閑静な地区である。敷地は旧北国街道に面しており車の交通量はあるが、建物までのアプローチに距離があるため幹線道路や鉄道の音はあまり感じられない静かな立地である。

現況写真

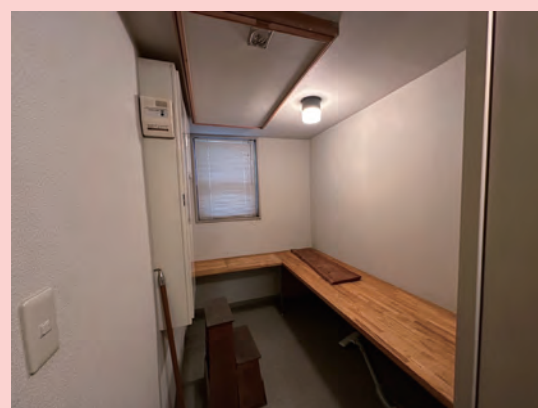
旧小諸本陣



広場



旧医院



3. 拠点施設のデザインコンセプト

旧小諸本陣敷地一帯ゾーン コンセプト

『 本陣 シェアパーク 』

～ 文化的な ヒト・モノ を集め 共有し創造する起点 ～

重要文化財として保存と利活用

来訪者の憩いの場、回遊の起点

- 旧小諸本陣の建物としての魅力をガイド等で回遊しながら感じてもらう。



重要文化財の価値と魅力の公開

- 江戸時代に建てられた数少ない本陣建築の遺構として、建物の価値と魅力を開示し、発信していく。



旧小諸本陣利活用のための補完機能

- 受付窓口やトイレ、観光案内所等、旧小諸本陣に設置が出来ない機能を補完する場として活用。

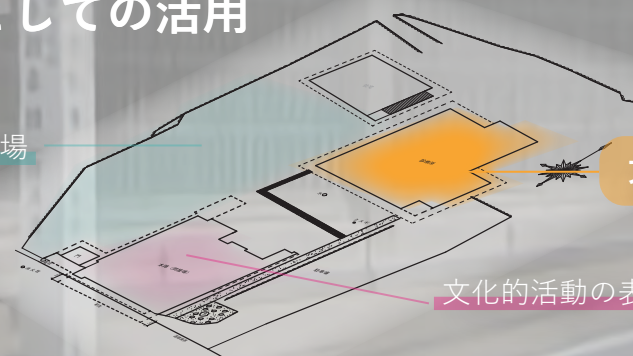


新たな文化創成拠点としての活用

来訪者やクリエイターの憩いの場

文化的ヒト・コトの創造・共有拠点

文化的活動の表現の場（イベント的利用）



4. 敷地一帯のゾーニング

小諸の『郷土・芸能』を共有・披露する場



憩い・休憩

- ▼大浅間火煙太鼓
- ▼菱野道化漫才・おかめさん
- ▼菱野獅子舞▼二十五菩薩来迎会
- ▼浦安の舞
- ▼健速TAKEHAYA(健速奉納舞踊)
- ▼正調小室節▼ささら踊り
- ▼小諸馬子唄▼惜別の歌(舞踊)
- ▼なれそ節▼小諸小唄
- ▼菱野小唄▼千曲川旅情の歌(草笛)
- ▼小諸音頭

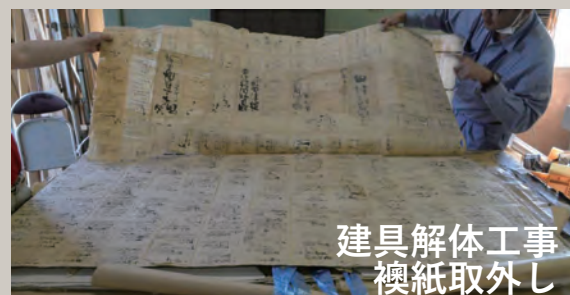
小諸の『歴史・文化』を共有・学習する場



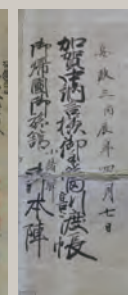
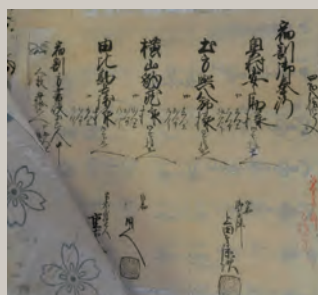
御本陣上田宇源次絵図
旧小諸本陣



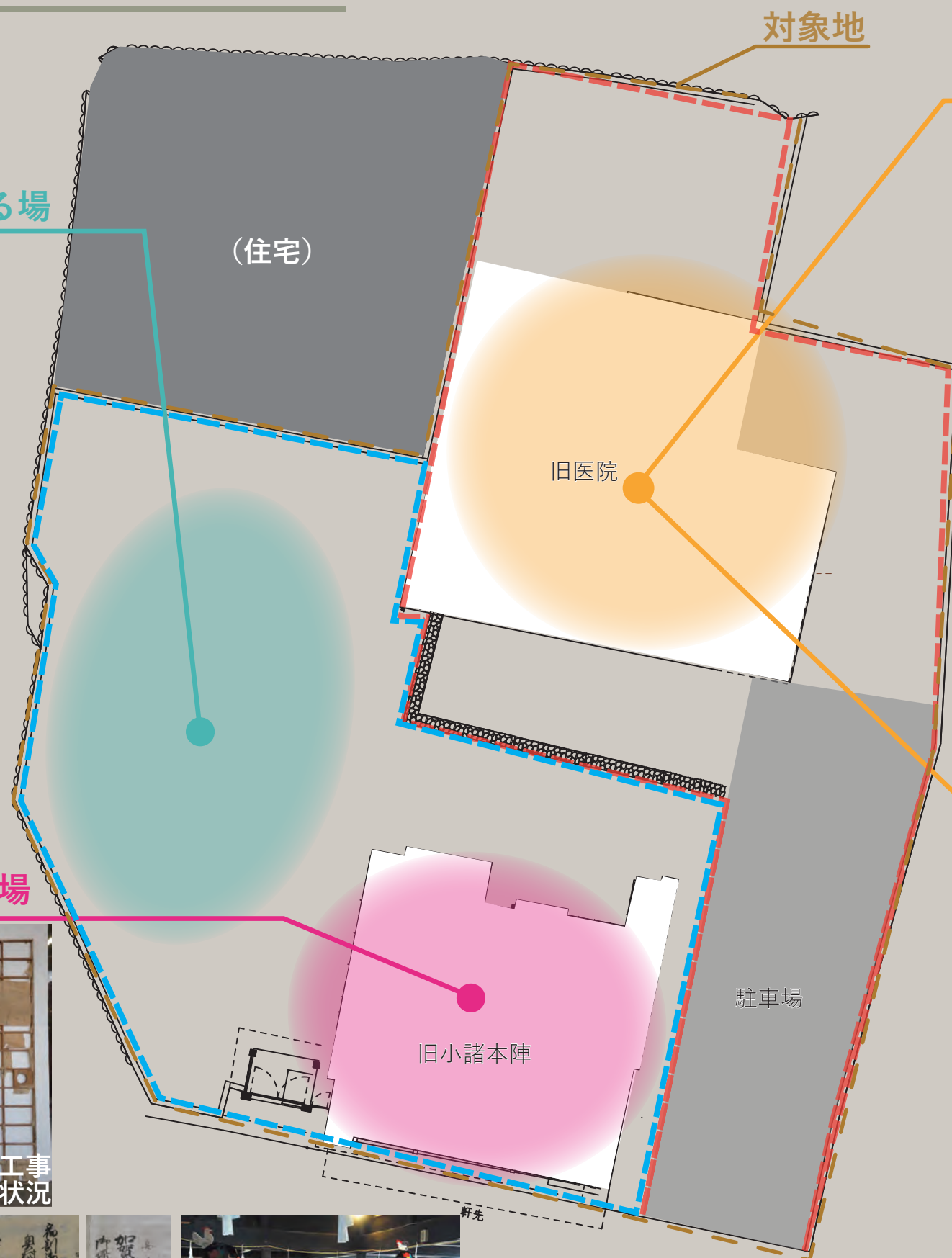
建具解体工事
下地骨状況



建具解体工事
襖紙取外し



伝統舞踊の披露



対象地

旧小諸本陣の機能の追加・補完する場

観光客への現地ガイド



観光案内所の設置



小諸の『未来』を創造する新たな文化共有・創成の場

シェアアトリエ・工作室



シェアキッチン



蔵：シェアスペース



5. 敷地一帯における動線イメージ



凡例

-  : 外部公開 (営業時間内自由公開)
-  : 内部公開 (セキュリティ内)
-  : 管理使用
-  : 外部公開ルート
-  : 内部公開ルート
-  : セキュリティライン

6. 旧医院の活用イメージ

旧医院外観イメージ：伝統を受け継ぐ趣と
未来を感じる人の動きの可視化



伝統を受け継ぐ 趣あるトーン



うちとそとがつながり 活動がつながる



フランクな出店と多彩な食の共有
シェアキッチン



事業費の想定	
用地取得費	53百万円
調査・設計費	52百万円
工事費	95百万円
計	200百万円

待機スペース・付属棟



事務所・バックヤードとして活用

みどりに包まれたコミュニティスペース



蔵：シェアスペース



昼はシェアスペース・夜はシェアバー

シェアアトリエ・工作室



フレキシブルにレイアウトを変えられる